

## 例題 21 の解答

垂直抗力を  $N$  とすると、速度が  $\frac{dx}{dt}(t) > 0$  なので、摩擦力は  $-\mu'N$  となり、運動方程式は、

$$m \frac{dx^2}{dt^2}(t) = -\mu'N + mg \sin \theta, \quad (162)$$

$$m \frac{dz^2}{dt^2}(t) = N - mg \cos \theta. \quad (163)$$

となる。初期条件は、 $\frac{dx}{dt}(0) = v_0$ ,  $\frac{dz}{dt}(0) = 0$ ,  $x(0) = 0$ ,  $z(0) = 0$ 。ここで、 $z(t) \equiv 0$  から  $z$  方向の方程式より  $N = mg \cos \theta$ 。よって、

$$\frac{d^2x}{dt^2}(t) = g(\sin \theta - \mu' \cos \theta). \quad (164)$$

これを積分して、

$$x(t) = \frac{1}{2}g(\sin \theta - \mu' \cos \theta)t^2 + C_1t + C_2. \quad (C_1, C_2 \text{ は積分定数}) \quad (165)$$

初期条件より、

$$x(t) = \frac{1}{2}g(\sin \theta - \mu' \cos \theta)t^2 + v_0t. \quad (166)$$

$t \rightarrow \infty$  で、 $x(t) \rightarrow \infty$  となるのは、

考え方 1

$$\sin \theta - \mu' \cos \theta \geq 0 \quad (167)$$

のとき。よって、途中で止まるのは、 $\sin \theta - \mu' \cos \theta < 0$  すなわち、 $\tan \theta < \mu'$  のとき。

注.  $\tan \theta < \mu'$  のとき,  $x(t) \rightarrow -\infty$  のように (坂を登ってように) 見えるがこれはみかけ上. 下の注意参照.

考え方 2

止まる時刻  $T$  を,  $\frac{dx}{dt}(T) = 0$  より求めると,  $T = -\frac{v_0}{g(\sin \theta - \mu' \cos \theta)}$ . これが  $T > 0$  を満たさないとならないと不適なので, 途中で止まるのは,  $\tan \theta < \mu'$  のとき.

注.  $\tan \theta < (>)\mu'$  のとき,  $t = T$  以後 (以前) は,  $x(t)$  は減少, すなわち坂を登っているように見える. が, これは見掛け上 のこと.  $t = T$  の以後 (以前) に  $\frac{dx}{dt}(T) \leq 0$  となり, 摩擦力を,  $-\mu' N$  としてたてた運動方程式が成立しなくなる.

考え方 3

物体の受ける  $x$  方向の力は一定で,

$$g(\sin \theta - \mu' \cos \theta). \tag{168}$$

これが正ならいつかは止まるので, 止まるのは,  $\tan \theta < \mu'$  のとき.

## quiz の解答

運動方程式は,

$$m \frac{dx^2}{dt^2}(t) = +\mu' N + mg \sin \theta, \quad (169)$$

$$m \frac{dz^2}{dt^2}(t) = N - mg \cos \theta. \quad (170)$$

( $\frac{dx}{dt}(t) < 0$  なので, 動摩擦力が  $+\mu' N$  となることに注意.), 初期条件は,  $\frac{dx}{dt}(0) = -v_0 < 0$ ,  $\frac{dz}{dt}(0) = 0$ ,  $x(0) = 0$ ,  $z(0) = 0$ . 積分して,

$$x(t) = \frac{1}{2}g(\sin \theta + \mu' \cos \theta)t^2 - v_0 t. \quad (171)$$

止まる時刻を  $t = T$  とすると,  $\frac{dx}{dt}(T) = 0$  を解いて,  $T = \frac{v_0}{g(\sin \theta + \mu' \cos \theta)}$ . この間に登った高さは,

$$-\sin \theta \cdot (x(T) - x(0)) = \frac{v_0^2 \sin \theta}{2g(\sin \theta + \mu' \cos \theta)} = \frac{v_0^2}{2g} \cdot \frac{1}{1 + \mu' \cot \theta}. \quad (172)$$

## 7 単振動 (調和振動)

佐本 4.4

バネの先についた物体 (質量  $m$ ) の運動を考えよう.

**自然長**: 力が加わっていないときのバネの長さ

**変位**:  $x(t) = (\text{変化後のバネの長さ}) - (\text{自然長})$

バネの復元力  $F = -k \times x(t)$  (フックの法則)

(173)

$k > 0$ : **バネ定数**. バネの強さを表す.

大きさは変位に比例.

変位を小さくするにはたらく (だからマイナス).

運動方程式は

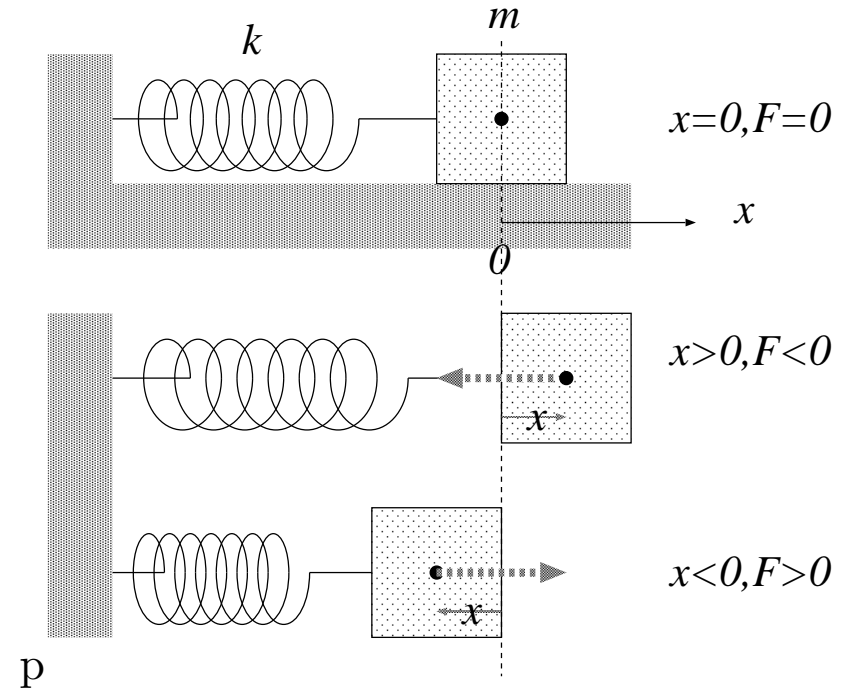
$$m \frac{d^2 x}{dt^2}(t) = -kx(t).$$

(174)

すなわち

$$\frac{d^2 x}{dt^2}(t) + \omega^2 x(t) = 0. \quad (\omega = \sqrt{k/m})$$

(175)



これを解こう.

$$\boxed{\phantom{C_1 \cos(\omega t) + C_2 \sin(\omega t)}} \quad (176)$$

は解になっている.

なぜなら

$$\frac{d^2}{dt^2}x(t) = \frac{d^2}{dt^2}(C_1 \cos(\omega t) + C_2 \sin(\omega t)) \quad (177)$$

$$= \frac{d}{dt}(-C_1\omega \sin(\omega t) + C_2\omega \cos(\omega t)) \quad (178)$$

$$= (-C_1\omega^2 \cos(\omega t) - C_2\omega^2 \sin(\omega t)) \quad (179)$$

$$= -\omega^2(C_1 \cos(\omega t) + C_2 \sin(\omega t)) = -\omega^2 x(t). \quad (180)$$

実は, これ以外の解はない (来年, 数理モデル基礎 I で学ぶ).

このような振動を **単振動 (調和振動)** という。

$$\sin \theta_0 = \frac{C_1}{\sqrt{C_1^2 + C_2^2}}$$

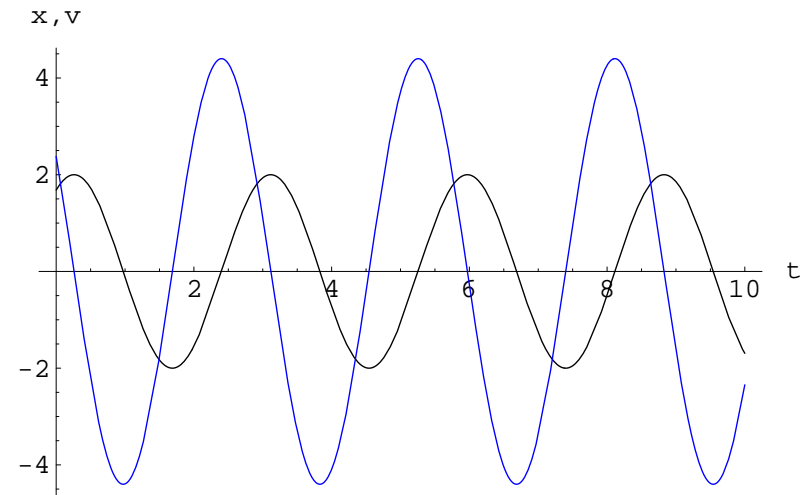
$$\cos \theta_0 = \frac{C_2}{\sqrt{C_1^2 + C_2^2}}$$

を満たすように  $\theta_0$  を定めると,

$$x(t) = C_1 \cos(\omega t) + C_2 \sin(\omega t)$$

$$= \sqrt{C_1^2 + C_2^2} \left( \frac{C_1}{\sqrt{C_1^2 + C_2^2}} \cos(\omega t) + \frac{C_2}{\sqrt{C_1^2 + C_2^2}} \sin(\omega t) \right)$$

$$= \sqrt{C_1^2 + C_2^2} (\sin \theta_0 \cos(\omega t) + \cos \theta_0 \sin(\omega t)) = (\text{加法定理}) = A \sin(\omega t + \theta_0).$$



振幅  $A = \sqrt{C_1^2 + C_2^2}$  [m]

位相  $\omega t + \theta_0$  [rad]

初期位相  $\theta_0$  ( $\tan \theta_0 = \frac{C_1}{C_2}$ )

$\omega$ : (単位時間に進む位相)[rad/s]

$T = \frac{2\pi}{\omega}$  ( $\omega T = 2\pi$  ごとに戻るから.) [s]

$\nu = f = 1/T$  (単位時間あたり何周期?). [1/s]

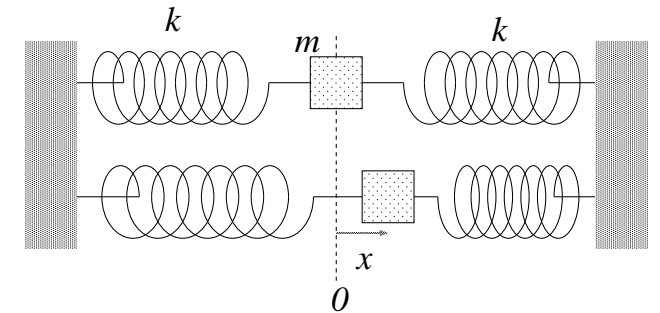
$(C_1, C_2), (A, \theta_0)$  はどちらも積分定数.

$$\left. \begin{array}{l} C_1 = A \sin \theta_0 \\ C_2 = A \cos \theta_0 \end{array} \right\} \longleftrightarrow \left\{ \begin{array}{l} A = \sqrt{C_1^2 + C_2^2} \\ \theta_0 = \arctan \frac{C_1}{C_2} \end{array} \right.$$

**例題 22** バネ定数  $k$  のバネの先に質量  $m$  の物体がついている. 変位を  $x(t)$  とするとき,  $x(0) = 0, \frac{dx}{dt}(0) = 1$  だった.  $x(t)$  を求めよ.

**例題 23** バネ定数  $k$  のバネの先に質量  $m$  の物体のついているバネ 1 と, バネ定数  $2k$  のバネの先に質量  $3m$  の物体のついているバネ 2 とがある. それぞれ, 角振動数と周期を求めよ.

**例題 24** 質量  $m$  の物体に, バネ定数  $k$  のバネを 2 つつなぎ, 自然長で両端を固定する. 変位  $x(t)$  の満たす微分方程式を求めよ.



## quiz

## 1. 微分方程式

$$\frac{d^2x}{dt^2}(t) = -8x(t) \quad (181)$$

を, 初期条件  $x(0) = 1, \frac{dx}{dt}(0) = -1$  のもとで解け.

2. バネ定数  $k$  のバネの先に, 質量  $m$  の物体がついている. 時刻  $t = 0$  に, バネを, 自然長よりも長さ  $\ell$  だけ引き延ばして静かに離れた.  $t = 0$  以降の運動を求め, グラフに書け.

## 小テスト 2 のお知らせ

日時 12月10日(月) 15:10–15:55

場所 1-107 講義室. 座席指定します.

成績 この試験の成績は, 後期の成績 100 点のうち 20 点を占めます.

試験範囲 変数分離型微分方程式. 重力, 空気抵抗の力, 摩擦力のもとでの運動. 斜面に沿う運動.